

来年度も充実の展覧会
幅広いジャンルで開催

求道の画家 岸田劉生と椿貞雄

■会期 4月7日(土)～6月17日(日)



岸田劉生《童女図(麗子立像)》
1923年、神奈川県立近代美術館蔵

名画が奏でる8つのフーガ
青木・セザンヌ・ルノワール

ブリヂストン美術館コレクション展

■会期 7月14日(土)～9月9日(日)



ピエール・ジョージ・テヴェナズ《すわる
ジョルジュ・セザンヌ・シャルパンティエ嬢》
1876年、石橋財団ブリヂストン美術館蔵

プラティスラヴァ世界絵本原画展

■会期 7月21日(土)～9月9日(日)

■会場 1階展示室

長谷川利行展

■会期 9月22日(土)～11月4日(日)

サンダーソンアーカイブ
ウィリアム・モリスと英国の
壁紙展

■会期 11月17日(土)～12月27日(木)

久留米市美術館コレクション展

■会期 来年1月19日(土)～3月24日(日) (予定)



坂本繁二郎《放水路の雲》1924年
久留米市美術館蔵



海老原喜之助《雪景》1930年
久留米市美術館蔵



岡田三郎助《水浴の前》1916年
石橋財団寄託作品

三郎助、久留米出身の吉田博、青木繁、坂本繁二郎、古賀春江、高島野十郎など、九州の洋画家たちの師弟、友人、ライバルといった関係に注目し、エピソードなどを交えて紹介します。
意外な関係や素顔に接することで、画家や作品について理解を深めることができます。
【会期】2月13日(火)から3月25日(日)までの10時～17時。月曜は休館
【料金】500円、65歳以上・大学生300円、高校生以下は無料

米市美術館のコレクションの行方・2月24日(土)②久留米市美術館の自慢の10点・3月3日(土)。いずれも時間は14時～15時。会場は市美術館1階多目的ルーム。料金は無料
【ギャラリートーク】美術館スタッフが展覧会や作品を解説。会期中の土・日曜14時～15時20分。2月24日、3月3日を除く。料金は無料。展覧会チケットが必要
【ワークショップ】コレクション・3月10日(土)10時～15時。対象は3歳以上。小学生以下は保護者同伴。会場は市美術館1階多目的ルーム。料金は100円。大学



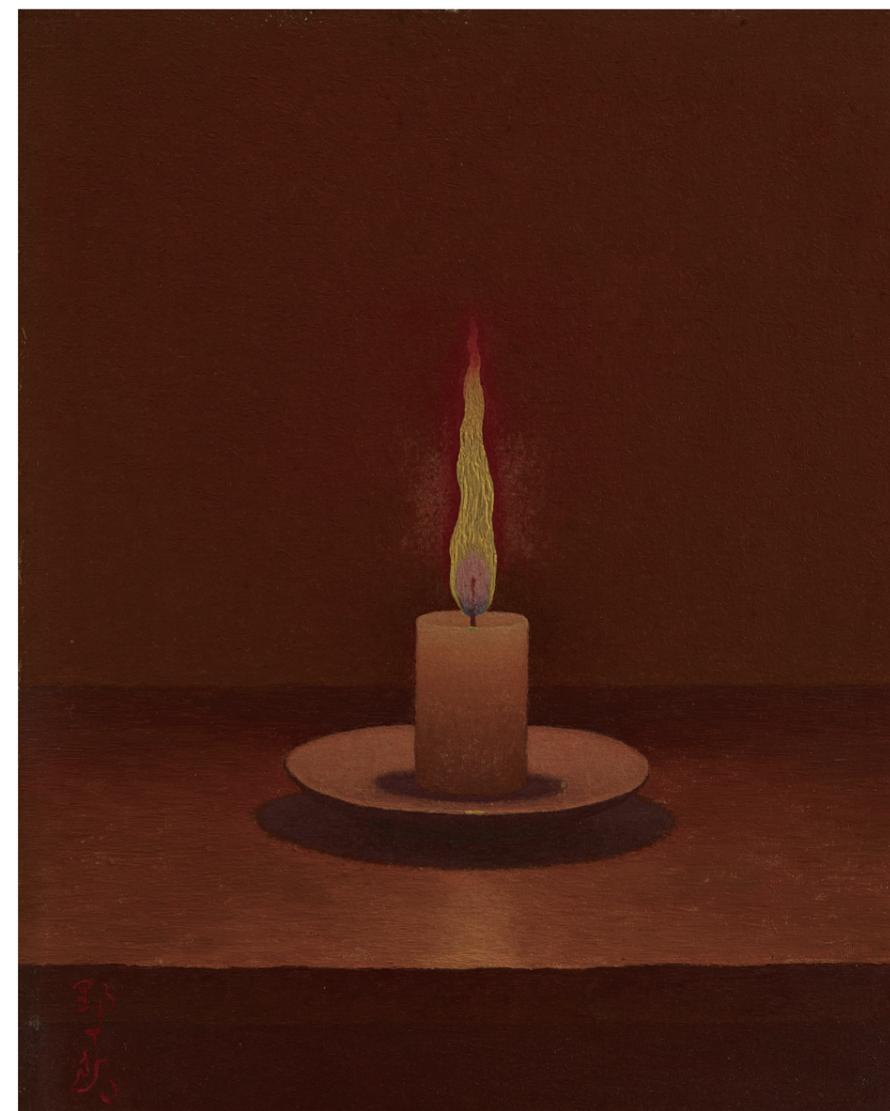
ワークショップでは、展示作品の中からお気に入りのを選び、プラ板でブローチを作ります

生以上は展覧会チケットが必要
①久留米市美術館 (☎0942・39・1131, FAX 0942・39・3134)

久留米市美術館の
コレクションing 九州洋画家関連図
所蔵作品を一挙公開

2月13日(火)～3月25日(日)

久留米市美術館、はじめてのコレクション展。



高島野十郎《蠟燭》久留米市美術館蔵

久留米市美術館は、2月13日(火)から、開館後初めてのコレクション展を開催します。日本の近代洋画壇をリードしてきた九州の洋画家たち。その関係に注目し、作品を紹介します。

九州全域に目を向けて
市美術館は、28年11月の開館以来、九州洋画の体系的なコレクションを目指し、久留米をはじめ、九州出身の画家の作品を中心に収集しています。これまでに37点を集め、現在も収集を続けています。

初のコレクション展

市美術館には、収集した作品の他、石橋財団や個人から預かっている作品など、全部で300点を超える美術品があります。その中から、九州の洋画家たちの作品約100点を展示します。市美術館のコレクションをまとめて紹介する初めての機会です。

画家たちの関係に注目

鹿児島出身の黒田清輝や藤島武二、佐賀出身の岡田